

第 81 回分析化学討論会 参加予約登録

第 81 回分析化学討論会は下記のように開催します。参加予約登録を分析化学討論会ホームページ(以下、討論会 HP と略)のオンライン登録で受け付けています。本討論会の参加予約登録はすべてオンライン (Web) 上から参加申込者が行う形式です。詳細は本誌 2 月号または下記の討論会 HP を参照ください。

期日 5 月 22 日 (土)・23 日 (日)

会場 Web を利用したオンライン開催

参加予約申込締切日

郵便振替 Web 申込締切: 4 月 14 日 (水) 14 時

郵便振替払込締切: 4 月 19 日 (月)

コンビニ決済 Web 申込締切: 4 月 20 日 (火) 14 時

コンビニ決済最終入金締切: 4 月 23 日 (金)

クレジット決済 Web 申込締切: 4 月 26 日 (月) 14 時

討論会 HP

<https://conference.jsac.jp/81touron/>

日本分析化学会第 70 年会 オンライン講演申込スケジュール

日本分析化学会第 70 年会は、下記のとおりオンライン開催することになりました。本年会では日本分析化学会用にカスタマイズされたオンライン登録システム (Web) を使用します。講演募集の概要は本誌 5 月号の「お知らせ」欄に掲載の予定です。なお、4 月号にも簡略版に掲載の予定です。

本年会の講演申込及び講演要旨入力はすべてオンライン (Web) 上から申込者が行う形式です。講演申込のスケジュールは下記を予定しております。

講演要旨集は Web 上での電子配布といたします。講演要旨は 1 講演 A4 判 1 頁です。詳細は本誌 5 月号及び年会ホームページ (4 月中旬に公開予定) でお知らせいたします。

期日 9 月 22 日 (水)~24 日 (金)

会場 オンライン開催

講演申込開始 4 月 30 日 (金) 予定

講演申込締切 6 月 16 日 (水)

要旨本文締切 7 月 14 日 (水)

参加登録費 予約: 会員 9,000 円, 学生会員 3,000 円, 会員外 16,000 円, 会員外学生 5,000 円 [予約外: 会員 12,000 円,

学生会員 4,500 円, 会員外 18,000 円, 会員外学生 6,000 円] 懇親会 参加登録者は、無料でオンライン懇親会に参加できます。

日本分析化学会ホームページ <https://www.jsac.jp>

Asian Conference on Analytical Sciences 2020 (ASIANALYSIS 2020) 延期のお知らせ

共同主催 ASIANALYSIS2020 実行委員会, (公社) 日本分析化学会

期日 2021 年 10 月 15 日 (金)~18 日 (月)

会場 国立台湾大学化学科

内容 分析科学全般

Website <https://conferences.iam.s.sinica.edu.tw/>
ASIANALYSIS2020/

発表形式 口頭・ポスター発表

講演要旨締切 2021 年 9 月 14 日 (火)

参加予約

Early Bird Registration

2021 年 8 月 14 日 (土) まで
Regular Registration

2021 年 8 月 15 日 (日)

~2021 年 10 月 5 日 (火)

2021 年度第 1 回近畿支部講演会

主催 (公社) 日本分析化学会近畿支部, 近畿分析技術研究懇話会

期日 4 月 9 日 (金) 15.00~17.00

会場 大阪科学技術センター 7 階 700 号室 [大阪市西区靱本町 1-8-4, 電話: 06-6443-5324, 交通: 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車, 北へ徒歩約 7 分。うつぼ公園北詰]

講演

1. 分析化学と化学教育にご縁をいただいた 40 年 (15.00~16.00) (大阪教育大学教育学部) 横井邦彦
2. 生体微量元素の可視化を目的とした蛍光プローブの開発 (16.00~17.00) (武庫川女子大学薬学部) 萩森政頼

参加費 無料

参加申込 標記記事名を題記し, (1) 氏名, (2) 勤務先 (所属), (3) 連絡先を記入の上, 下記申込先へ FAX または E-mail にてお申し込みください。なお, 参加証は発行いたしませんので, 当日は直接会場にお越しください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 (公社) 日本分析化学会近畿支部 [電話: 06-6441-5531, FAX: 06-6443-6685, E-mail: mail@bunkin.org]

第 358 回 液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社) 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

UHPLC は, 従来の HPLC と比較して, 分析時間の画期的な短縮及びそれに伴う分析効率の向上を可能とし, 現在様々な分野の分析現場で活用されております。また, 上市されて 15 年以上経過し, 装置本体及びその関連機器の進歩, そして分析例及び HPLC からのメソッド移管等の分析技術の蓄積も充実しつつあります。本例会では, UHPLC の基礎的な事柄からその応用, 最新の装置及び技術情報等まで, UHPLC 全般に関する講演を実施します。

期日 4 月 22 日 (木) 13.00~17.15

会場 Zoom オンライン例会

講演主題 「UHPLC の全て~基礎と応用, 現状と関連情報」

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13.00~13.05)

(近畿大学) 戸谷昭善

(LC 分析士四段, LC/MS 分析士三段, IC 分析士三段)

1. UHPLC はなぜ高速で高分離なのか? (13.05~13.50)

(㈱日立ハイテク) 伊藤正人 (LC 分析士五段)

2. HPLC⇔UHPLC メソッド移管虎の巻 (13.50~14.25)

(日本ウォーターズ㈱) 朝日優介

(LC 分析士初段, LC/MS 分析士初段)

3. UHPLC を用いたメソッド開発のコツ~ルーチン分析のために~ (14.25~15.00) (日本分光㈱) 寺田明孝

(LC 分析士三段, LC/MS 分析士二段, IC 分析士初段)

休憩 (15.00~15.15)

4. UHPLC を使用した超高速分析の基礎と 2D-LC への応用 (15.15~15.50)

(アジレント・テクノロジー㈱) 熊谷浩樹

(LC 分析士四段, LC/MS 分析士二段)

5. 分析メソッド高速化に関する最近の動向と注意点 (15.50~16.25)

(株島津製作所) 吉岡拓哉 (LC 分析士初段)

6. キラル分離メソッド開発の現状:UHPLCでの運用について (16.25~16.40)

(株ワイエムシィ) 渡部 毅 (LC 分析士二段)

7. 総括「UHPLCの全て~基礎と応用, 現状と関連情報」 (16.40~17.15)

(東京理科大学) 中村 洋

(LC 分析士五段, LC/MS 分析士五段)

参加費 LC 研究懇談会会員:1,000 円, 協賛学会 (日本分析化学会, 日本薬学会, 日本化学会) 会員:3,000 円, その他:4,000 円, 学生:1,000 円。参加申込締切後の受付はできませんので, ご了承ください。

情報交換会 講演終了後, 講師を交えて情報交換会を開催します (会費 1,000 円)。締切後のご参加はできませんので, 参加希望者は必ず事前にお申込みください。

参加申込 & 参加費等納入締切日 4 月 15 日 (木)

申込方法 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先 (電話番号), LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記の上, お申込みください。参加費の納入が確認できた方には, 4 月 16 日以降に ① 例会サイト入場 URL と ② 「視聴者用操作マニュアル」をお知らせします。また, 情報交換会参加費納入者には, ③ 情報交換会サイト入場 URL をお知らせいたします。

申込先 <https://forms.gle/npCDhMKHfoRF8iEJ9>

銀行送金先 りそな銀行 五反田支店 (普通) 0802349 口座名 シャ)ニホンブンセキカガクカイ (公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会)

問合先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 [世話人 E-mail: chemsofty@yahoo.co.jp]

2021 年度「ぶんせき講習会」(基礎編その 1)

「分析における統計手法~統計の基礎と統計手法の実際について~」

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部, 近畿分析技術研究懇談会

協賛 (公社)化学工学会関西支部, (一社)近畿化学協会, (公社)日本化学会近畿支部, (公社)有機合成化学協会関西支部, (一社)日本鉄鋼協会関西支部, (公社)日本金属学会関西支部, 関西分析研究会, (一社)化学とマイクロ・ナノシステム学会, (公社)表面真空学会関西支部, (公社)高分子学会関西支部

分析機器の近年の進歩はめざましく高性能化が進み, さらにはその操作も簡便化しています。このため初心者でも測定データをたやすく得ることができるようになった反面, ブラックボックス化した分析機器からコンピュータ処理された測定データが「そのまま使える」数値として出力されるため, その値が「意味のある値」であるかどうかを吟味することや有効数字を意識するケースが少なくなったといえます。

そこで本講習会では, 主に分析初心者および統計に関して再度学習したい方を対象に, 分析化学における基礎である「有効数字, 測定データの統計処理」を学ぶ, あるいは学び直すための演習と講義を企画しました。これにより統計に関する基礎を習得できます。

期日 5 月 14 日 (金) 10.00~16.20

会場 Webex によるオンライン開催 (Cisco Webex)

*近畿圏内に限らず全国からのご参加をお待ちしております。

講習内容 統計に関する基礎的な演習と講義

対象者 これから分析化学に携わる初心者 (新入社員あるいは研究室配属直後の学生) や「有効数字, 測定データの統計処理」を学び直したい方

講習プログラム

1. データ取扱いの初歩—計測と有効数字— (10.00~10.50)

(府大高専) 野田達夫

2. 繰り返しデータの統計の基礎—誤差と信頼区間— (11.10~12.10) (阪大院基工) 田邊一郎

3. 各種検定の考え方と実際 (13.30~15.00) (京大院薬) 金尾英佑

4. 最小二乗法によるデータ解析 (15.10~16.20) (京大化研) 下赤卓史

*参加者には事前に電子メールにて PDF 資料 (演習問題も含む) のダウンロード方法に関する案内および受講方法の詳細を記したメールを送付します。

*上記のメールに従い, 各自でご用意いただく PC にウェブミーティングソフトの Cisco Webex をダウンロードの上, インストールください。

*当日のテキストは, 各自で PDF を事前にダウンロードし, お使いください。

*演習問題は, 当日に講師がオンライン講習にて解答を解説します。

*お申込みいただいたメールアドレスに, Webex ミーティング招待状を送付します。

*当日, Webex の招待メールからミーティングルームにログインしてください。

*講習会の 1 週間前に接続テストを実施します。ご自身のパソコンで Webex を利用可能かご確認ください。

*演習問題では, 関数電卓を使用いたしますので, 各自でご用意ください。なお, 書籍「実験データを正しく扱うために」(化学同人)を参考図書としています。

申込締切 4 月 23 日 (金), 定員 (100 名)。お申込受付は先着順とし, 定員になり次第, 締め切ります。4 月 24 日以降のキャンセルは不可。

参加費 主催・協賛団体所属会員 6,000 円, 学生 2,500 円, 会員外 10,000 円

申込方法 参加を希望される方は, 近畿支部 HP (<http://www.bunkin.org/>) から本講習会のページに入ってください, 【参加申込フォーム】にて Web からお申し込みください。

*お申込み後, 自動返信メールが届きましたら, 開催日までに参加費のお支払いをお願いいたします。参加費は銀行口座 (りそな銀行御堂筋支店 普通預金 No. 2340726, 名義: 公益社団法人日本分析化学会近畿支部) にお振り込みください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区鞠本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 (公社)日本分析化学会近畿支部 [電話: 06-6441-5531, FAX: 06-6443-6685, E-mail: mail@bunkin.org, 近畿支部 HP: <http://www.bunkin.org/>]

問合先 山本佐知雄 (近畿大) yamamoto@phar.kindai.ac.jp

2021 年度 CERI クロマトグラフィー分析賞 受賞候補者の推薦

液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会は, 2021 年度の CERI クロマトグラフィー分析賞受賞候補者の推薦を受け付けております。LC 研究懇談会会員で, 標記候補者の推薦を希望される方は, 下記の規程 (抜粋) を参照のうえ, 推薦書類提出先にお申し出ください。受賞者には, LC 懇の電子ジャーナル「LC と LC/MS の知恵」への業績投稿を行っていただきます。

第 1 条 本賞は, LC を利用した研究分野で優秀な研究成果を挙げた者を対象に, 年 1 件以内に授与する。

第 3 条 受賞者の資格に年齢は問わないが, LC 研究懇談会の会員であることが望ましい。また, 受賞者の研究成果は, 既印刷のもので, 少なくともその一部が公益社団法人日本分析化学会の機関誌もしくは学術刊行物に掲載されたものであることを要する。

第 7 条 賞の授与は, LC & LC/MS テクノプラザにおいて行う。受賞者には, 賞牌及び賞金 (10 万円) を授与す

る。

[注記]

- 1) 提出書類：推薦者は、A4判用紙に横書きで記入した以下の4種類の書類（各1通）を8月末日までに下記提出先に電子メールで送付する。
 - ① 生年月日及び高校卒業以後の履歴書、② 推薦理由書、③ 研究業績名（40字以内）及びその概要、④ 研究業績リスト：表題、全著者名（受賞候補者にアンダーライン）、雑誌名、巻数、掲載ページ数、掲載年をこの順に記載したもの、⑤ その他、適当と思われる資料（1件）を提出してもよい。
- 2) 推薦書類提出先：CERIクロマトグラフィー分析賞係
[E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

2021年液体クロマトグラフィー科学遺産 候補の推薦

LC研究懇談会会員で、LC科学遺産候補の推薦を希望される方は、下記の規程（抜粋）およびLC研究懇談会ホームページを参照のうえ、8月末日までに推薦書類を提出先にお送りください。なお、認定が決定されたLC科学遺産については、第27回LC & LC/MSテクノプラザ（2022年1月を予定）において、当事者から申請内容の概要を発表若しくは展示していただくと同時に、LC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」への投稿を行っていただきます。

第2条 「液体クロマトグラフィー科学遺産」とは、日本における液体クロマトグラフィー（LC）の発展にとって、歴史的な観点から顕著な貢献があったと認められるものを指す。

2 「液体クロマトグラフィー科学遺産」は、年度ごとに1件以内を認定する。

3 装置・器具類においては、その動作原理が日本初若しくはそれに準じたものであること、又はその性能が従来のものより格段に優れていることを要する。

4 技術・方法においては、従来のものより効率、再現性、操作性などが格段に優れていることを要する。

推薦書類 A4判用紙に横書きで記入した以下の書類（各1通）。

① 推薦理由書、② LC科学遺産候補の概要、③ LC科学遺産所有者名、④ その他、適当と思われる資料（1件）を提出してもよい。

提出先 LC科学遺産認定委員会 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

2022年液体クロマトグラフィー努力賞 候補者推薦について

本賞は液体クロマトグラフィーに関する研究・技術が独創的であり、将来を期待される研究者・技術者が受賞の対象となります。適当な候補者がおられましたら、下記要領にてご推薦またはご応募ください。受賞者には第27回LC & LC/MSテクノプラザ（2022年1月を予定）における受賞講演、並びにLC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」への業績投稿を行っていただきます。不明な点は下記にお問い合わせください。

受賞資格 本研究懇談会の個人会員で、2022年4月1日現在で満50歳程度まで。

提出書類 ① 推薦書又は自薦書（A4判スペース1枚に生年月日、簡単な履歴、受賞の対象となる研究題目）、② 推薦又は応募理由書（A4判を縦に使用し、1行45字、40行程度で業績説明と主要論文リストを合わせて3枚以内）、③ 説明資料1件（任意。特に重要な論文の別刷PDF、その他審査の参考となる資料等）を下記応募先に電子メールで添付。

推薦・応募締切 9月末日

——以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

ナノ学会第19回大会

主催 ナノ学会
期日 5月20日(木)~22日(土)
会場 名古屋工業大学御器所キャンパス
ホームページ
<http://mtg-officepolaris.com/nano19/>
連絡先 ナノ学会第19回大会事務局 [E-mail: nano19@mtg-officepolaris.com]

日本化学会北海道支部 2021年夏季研究発表会

主催 (公社)日本化学会北海道支部
期日 7月17日(土)
会場 北海道大学函館キャンパス [函館市港町3-1-1]
※オンライン開催となる可能性があります。
ホームページ
<https://pcat.cat.hokudai.ac.jp/kakiken>
連絡先 北海道大学大学院理学研究院化学部門内 日本化学会
北海道支部 2021年夏季研究発表会実行委員会 [電話:
080-2862-6084, E-mail: kakiken@pcat.cat.hokudai.ac.jp]

「分析化学」年間特集「食」の論文募集

「分析化学」編集委員会
「分析化学」では2021年度の年間特集は「食」をテーマとすることといたしました。

本特集では、「食」と分析化学の関わりを、基礎・応用を含め幅広い観点から見渡し、社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第70巻(2021年)合併号の冒頭に掲載する予定です。

国内外、産学官を問わず、「食」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌のホームページをご参照ください。

特集論文の対象:「食」に関連した分析化学的な基礎・応用研究に関する論文。1)食品中栄養及び機能性成分の分析法開発・応用, 2)食品中汚染物質・有害物質の分析法の開発・応用, 3)食品由来の成分分析法の開発, 4)食物を介した汚染物質・有害物質の摂取量の評価・分析法, 5)無機元素, 同位体比, 有機成分及び遺伝子等の差異を用いた食品の産地や起源等を判別する技術, など。

特集論文原稿締切: 2021年3月26日(金)(第3期)

「分析化学」特集「電気分析化学の真骨頂」の論文募集

「分析化学」編集委員会
「分析化学」編集委員会は、電気分析化学研究懇談会と共同で「電気分析化学の真骨頂」と題した特集を企画しました。電気分析化学は、ポーラログラフによる微量金属、有機物分析から出発し、現在では、ボルタンメトリー、クーロメトリー、ポテンシオメトリーなど多様な方法論の発展や電極材料の開発に支えられながら、環境、医療、バイオ、エネルギーあるいは標準物質の値付けなど、広範な分野で活用されています。また、分析対象の開拓、電極材料や新規セルの創製、装置・測定法の開発、理論の深化など、電気分析化学における多面的な発展も進んでいます。そのような局面において、数年前に、その多様性を有機的に連繋させる総合的な議論の場として、電気分析化学懇談会が新設されました。

このような背景に鑑み、本特集号では、電気分析化学の真骨頂が発揮された研究に関する論文の投稿をお待ちしています。奮ってご投稿ください。詳細は分析化学誌ホームページをご覧ください。

特集論文原稿締切: 2021年4月16日(金)

日本分析化学会標準物質についてのお知らせ

マグネシウム認証標準物質7種類の頒布開始

◇微量元素分析用 高純度マグネシウム認証標準物質
[JAC 0141~JAC 0143 (ディスク状, 3種類)]

JIS H 2150に準拠したインゴットからピレットを作製し、押し出し加工により丸棒にし、ディスク状に切り出した標準物質で3~6元素を認証した。頒布本体価格: 1ディスクで本会団体会員: 40,000円, それ以外: 60,000円。

◇汎用マグネシウム合金認証標準物質
[JAC 0151~JAC 0154 (ディスク状, 4種類)]

JIS H 4203 に準拠したマグネシウム合金を連続鋳造で作製したピレットを押し出し加工により丸棒にし、ディスク状に切り出した標準物質で Al, Mn, Zn を主成分に他 3~7 元素を認証した。頒布本体価格：1 ディスクで本会団体会員：40,000 円、それ以外：60,000 円。

* 頒布本体価格（送料込み、消費税別）について：上記 7 種類を 1 セット購入の場合、10 % 引きとします。

認証標準物質の認証値については、多数の試験機関が参加した共同実験で得られた値を基に標準物質委員会が認証したものである。PT 表示の標準物質は ISO/IEC17043 に基づいて、技能試験で報告された多数の機関の分析値から求めた中央値を付与値として、標準物質委員会が認めたものである。試料の分析にあたり、本標準物質は併行して分析して得られた分析値を認証値と比較して分析値の妥当性を判断するときなどに用いる。

認証書などさらに詳しい情報は本会ホームページ (<https://www.jsac.jp>) をご覧ください。

申込方法 希望標準物質名（製品番号も明記）、申込者氏名、送付先（郵便番号、住所、所属、電話番号）、団体会員・それ以外の別（団体会員の場合は会員 ID）、数量・料金、請求書宛名を明記のうえ、下記にお申し込みください。なお、本体価格は送料込み、消費税別です。

申込及び問合せ先 〒105-0012 東京都港区芝大門 2-12-7 (RBM 芝パークビル) 西進商事(株)東京支店〔電話：03-3459-7491, FAX：03-3459-7499, E-mail: info@seishinsyoji.co.jp, URL: <http://www.seishinsyoji.co.jp/>〕

技術的な問合せ先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号 (公社)日本分析化学会 標準物質委員会 事務局〔電話：03-3490-3352, FAX：03-3490-3572, E-mail: crmpt@ml.jsac.or.jp, URL: <https://www.jsac.jp/>〕

初めて書く論文は母語の日本語で！ “第 20 回若手研究者の初論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2021 年（第 70 巻）に第 20 回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019 年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌 HP をご参照ください。

「分析化学産業技術論文賞」のご案内

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2019 年に「分析化学産業技術論文賞」を設けました。独創的であり、実用的な分析技術や測定機器、並びに科学技術や産業の発展に貢献すると認められる論文を選定し、表彰することといたしました。企業技術を周知する場としても活用して頂けるかと思っておりますので、奮ってご投稿ください。また、国内における科学技術の国際競争力強化のため産学連携が推進されています。その研究成果を企業の視点からご投稿ください。若手研究者のご投稿もお待ちしております。詳細は「分析化学」誌ホームページをご参照ください。

表彰対象論文：1) 独創的であり、実用的な分析技術や機器、並びに科学技術や産業の発展に貢献すると認められた論文。

2) 企業あるいは公設試験研究機関に所属する者が筆頭著者あるいは連絡代表者である論文。

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌ではこれまで著者の方々に別刷の購入をお願いしてまいりましたが、2020 年 4 月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdf ファイルを進呈することにいたしました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式（P：印刷ページ数）（単位：円）

会員の場合：30,000 + 5,000 × (P - 4)（印刷ページ数が 14 ページ以上は一律 80,000 円）

会員外の場合：40,000 + 5,000 × (P - 4)（印刷ページ数が 14 ページ以上は一律 90,000 円）

* 上記に消費税がかかります。

「Analytical Sciences」別刷頒布価格のお知らせ

「Analytical Sciences」掲載の投稿論文の別刷頒布価格は下記のとおりです。

1. 頒布部数：50 部を最小単位とし、以降 50 部単位で頒布します。

2. 価格：次の計算式に従って算出された値（円）。

$$20000 + 2500 \times p + 25 \times p \times (n - 50)$$

但し、 p は掲載論文の印刷ページ数で、奇数の場合には 1 を加えた値、 n は別刷希望部数。

3. 消費税 10 % がかかりますので、ご了承ください。

Effect of Plasma Gas and the Pressure on Spatially and Temporally Resolved Image of Copper Emission Lines in Laser Induced Plasma Optical Emission Spectrometry

J. WENG, S. KASHIWAKURA, and K. WAGATSUMA 367

Notes

Electrochemical Analysis of Coffee Extractions at Different Roasting Levels Using a Carbon Nanotube Electrode

R. WADA, S. TAKAHASHI, H. MUGURUMA, and N. OSAKABE 377

A Simple and Effective Method for Speciation Analysis of 13 Arsenic Species Using HPLC on a Fluorocarbon Stationary Phase Coupled to ICP-MS

S. MIYASHITA, K. KINOSHITA, and T. KAISE 381

Advancements in Instrumentation

Development of a Chromium-free Gas Detector Tube for Alcohols

K. KAWAMURA, H. OHKUMA, and K. MIYAZAWA 387

Announcements

393

X-ray Structure Analysis Online

Vol. 37 Part 2
February 2021

— CONTENTS —

The Crystal Structure of a Benzyltriethylammonium Bromide Complex with *rac*-1,1'-Binaphthalene-2,2'-diol: The Inclusion of an Arylammonium Salt by an Assembly of Binaphthol Groups

Emmanuel MARFO-OWUSU and Amber L. THOMPSON 7

Crystal Structure of μ -Oxido- μ -phenolato-bridged Dinuclear Manganese(III) Complex of Schiff-base Ligand with Bromido Coordination

Masahiro MIKURIYA, Sayuri ONO, Yoshiki KOYAMA,
Ryoji MITSUHASHI, and Motohiro TSUBOI 9

求人・求職

478-1642, E-mail : ueda.kazumasa@shizuoka.ac.jp
詳細は <https://www.shizuoka.ac.jp/recruit/?KW=ct01> をご覧ください。

求人

H 2021002 静岡大学工学部・大学院総合科学技術研究科教員公募

募集人員：講師または准教授1名。資格：博士の学位を有すること。物理化学あるいは分析化学の分野での十分な研究業績があること。学部および大学院の授業を担当でき、学部生および大学院生の教育と研究指導に意欲的であること。提出書類：履歴書・研究業績リスト等。公募締切：令和3年5月7日。書類提出・問合せ：〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学学術院工学領域 植田一正〔電話：053-

H 2021003 金沢大学理工研究域物質化学系教員公募（女性限定）

公募人員：テニュアトラック助教1名。専門分野：広い意味での分析化学（ソフト界面やナノ粒子表面を反応場として利用する分析化学的研究を推進していただきます）。勤務形態：任期付き常勤助教（任期は原則5年，任期中にテニュア付与の可否を審査）。応募資格：着任時に博士の学位を有する女性研究者。着任時期：2021年8月1日以降のできる限り早い時期。応募締切：2021年3月31日必着。応募書類・提出先：本学HP（<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/researcher/koubo.html>）参照。問合せ：金沢大学理工研究域物質化学系化学コース長永谷広久〔E-mail：nagatani@se.kanazawa-u.ac.jp〕